

事業所名		tomonii		公表日		令和7年 1月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員は基準内であり、指導訓練室等、十分なスペースがあり、クールダウン等の対応にも可能である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準人員配置は満たしているが、より充実した支援を行う為に、人材確保を行いたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもに対してわかりやすく、生活動作等の手順書(手洗いの仕方や食器洗いの方法等)を掲示する等行っている。バリアフリーについては、トイレや階段に手すりを設置したり、玄関の段差を少なくする等の工夫を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に合わせて使用する訓練室を使い分ける等している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集中して取り組みたい活動や、クールダウン等の際には個室で対応を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員で個別の課題等を共有、振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表だけでなく、懇談等でも要望等を伺っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃から意見交換を行い、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ケース会議等事業所内での研修を行ったり、外部への研修の機会を設けている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画を立てる際には、保護者様と懇談を行いニーズに加え、家庭や学校での様子も伺ったうえで作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で子どもの姿を共通理解し、会議を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの発達段階、成長過程をしっかりと見極め、課題を理解し、その子どもに合った目標設定や具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で話し合い決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた活動等も取り入れ固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		本人の興味関心からの意欲を重視した個別活動や集団での活動を組み合わせ、計画も作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを行い、その日の活動、職員の配置だけでなく、その日の利用児に関する情報も全員で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援終了後にミーティングを行い、その日の支援の振り返り、評価・反省点、利用児の姿の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、必ずその日の利用児の支援記録を記入し、支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング時期だけでなく、必要に応じて、ケース会議等を行いモニタリングや計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		1日の活動を複数設定し、子どもたち自身が選択できるようにしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者だけでなく、該当児の状況をよく理解した者も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎回、送迎時にその日の様子等を伺っている。また、デイでの出来事や様子もお伝えし情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて相談支援員の方やご家庭に就学前の様子を伺ったりしているが、園等直接的に伺う機会は少ないため今後、しっかり連携を取っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業間近にサービス担当者会議を開催し、本人・保護者様、学校、就労先、相談支援員、当事業所でそれまでの支援内容や課題等、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		センター主催の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現状交流の機会がないが、学童を利用していた子もいるため、今後連携を取ってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用児には連絡帳や口頭でその日の様子をお伝えするとともに、家庭での様子もお聞きしている。また、年に数回懇談を行ったり、必要時には電話やメール等も利用し様子を伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別での相談支援(家族支援)は行っているが、研修という形では行っていないため、今後検討していく。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書面を提示し、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前には必ず、保護者様や本人のニーズや意向を伺うために懇談を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別懇談を年に数回行い、ご家庭での困り事等を伺ったり、必要に応じて懇談を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現状行っていないが、お仕事をされている保護者様が多い中、どのような形で開催するのが良いか検討中である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月おたよりを発行したり、活動の様子がすぐに保護者様に発信できるようSNSも活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管し、必要時以外は施錠をしており、鍵の管理も管理者が行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様には特性に合った方法、保護者様には、口頭での伝達だけでなく、書面やメール等も活用し情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		日頃から事業所へ地域の方が訪れてくださったり、子どもたちとの関わりを持ってくださっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員には研修、訓練を行っており、保護者様には訓練の様子をお伝えしたり、必要な情報を抜粋して書面で配布している。	保護者様に対してはより認知していただくための方法を検討していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始までに聞き取りを行ったり、アセスメントシート等を記入していただき、状況を把握している。また、投薬の変更があった際や、病院受診後にはDr.からの話等をお聞かせいただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様からしっかりと情報を聞き取り、万が一アレルギー反応が出た際の対応もお聞きし、職員全員で周知している。また、アレルギー物質が誰もがわかるように掲示したり、調理活動の際は食材の管理を一人が責任を持って行い、確認は複数人で行っている。また、日頃から食材等に関する情報共有を保護者様と行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		必要な情報を抜粋して書面で配布している。	保護者様への周知、理解をより深めていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日頃から意識できるように、目のつく所に事例集を置いている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、該当児はいないが、身体拘束については研修を行い、職員全体でやむを得ない場合、適切に対応できるように検討を重ねている。	